

今を大切な時間にする

楽しいことも辛いことも自分にとっていい経験になるように

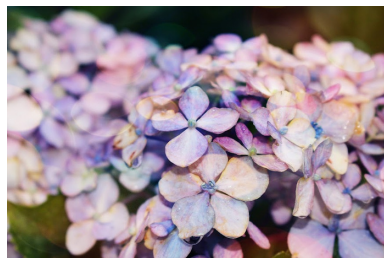
みなさん、こんにちは。今号の広報誌担当、丸山です。私は3月に大学を卒業し社会人になりました。そして、現在、就職活動真っ只中です。スタジオに長くいる会員さんは、「あれ.....?」と思われていたかもしれませんね。4月から勤め始めた会社を退職し、去年とは少し違う気持ちで2度目の就職活動を始めました。

今号ではそんな私の就活についてスタジオでの勤務を交えて書いてみたいと思います。

焦りは悪循環のもと！？

皆さんはどんな時に「焦り」を感じますか？私は現在の就活を始めてからとても感じています。去年の就活では、周りの友人たちも同じように就活をしていたため、焦りというものはあまり感じていませんでした。しかし、今は自分だけが就活して「自分はこのままでいいのだろうか、どんどん周りには置いてかれている...」という思いでいっぱいです。友人との会話は仕事の話がほとんどで、周りが働いている中で何もしていない自分が嫌になり辛くて泣いた日もありました。自分の中の焦る気持ちが大きくなるほど追い詰められていきます。そして、何もかも上手くいかずそれがまた新しく焦りになってしまうという悪循環に陥ってしまいます。

このような焦りを感じるのは就活に限らずいろんな場面であると思います。スタジオで勤務していると会員さんの落ち込んでいる様子が見られたり、挨拶やお話する時の声のトーン、ちょっとした表情から「何か悩み事があるのかな？」と気になったりします。そんな時は、ぜひスタッフに打ち明けてみてください。私は何か気になることや悩みがある時は、「どうしよう、どうすればいいんだろう」という気持ちをそのまま人に聞いてもらいます。いいアドバイスや言葉をもらえなくても人に話すだけで気持ちがスッキリすると思います。誰でも感じる焦りの気持ちを少しでもスタジオで解消できるといいなと思っています。



のんきは禁物！

私はよく「考えも行動ものんきすぎる」と言われます。5月から就活を始めてやりたいことを考えたり色んな企業を調べているうちに、就活をしている自分に満足してしまっていたり、「きっと自分に合うところが見つかるだろう」と楽観的に考えていたところがありました。しかし、夏に入り募集を締め切る企業も増えてきて、選考を受けられる数も少なくなってきて、「もう締め切っちゃってる！もう少し早く気づいてたら応募できたのに...」とのんびりしすぎた自分の考えと行動に後悔することがありました。

私の就活では焦りよりものんきが禁物のようです。スタジオでは会員さんから就活状況について聞かれることがあり、その度に「もっと必死に就活しなきゃ！」と思うようになっていきます。



すべてをいい経験に！

就活＝ツライ、私は去年の就活でそのように思っていました。しかし、今年の就活は新卒ではないので去年よりも厳しい部分はありますが、楽しいと感じることもあり就活は辛いだけではないと思えてきました。それは、去年は全く考えもしなかった業界の説明会に参加したり、選考を受けたりしていることが辛さだけではない部分です。去年は業界や職種を絞って就活をしていましたが、今年は「この会社なんか面白そうだから、説明会に参加してみようかな!」「こんな仕事もやってみたいかも!」と去年よりも幅広く業界をみて前向きに取り組んでいます。去年の就活では事前に相手のことを調べてただ自分をアピールすることを強く意識していましたが、今年は「自分をアピールする以外に企業や団体のことを知る」ということを強く意識して、説明会や面接では「相手のことを分析してやる!」という気持ちで挑んでいます。実際分析するまでは難しいですが色んなお話ができています(笑) また、前の会社での経験をツライ経験だけにせず、「あんなことがあったけど、いい経験になったな」と思えるように頑張っています。就活での面接は不安と緊張でいっぱいですが、いろんな人と話ができていい経験だと思えます。そして、就活で経験したすべてのことがいい経験と思えるように取り組んでいます。

スタジオでは毎日会員さんが勉強やお仕事でご利用されています。その様子を見てみると、自然と「自分も頑張らないと!」という気持ちになります。皆さんの頑張っている姿はモチベーションアップに繋がっており、私のように「スタジオで頑張っている人がいる、じゃあ自分も頑張らないと!」と思う人が増えるといいなと思っています。

